

学科 学年	留学生 3年生	科目 分類	日本語 Japanese	講義 必修	H23通年 2単位	学習教育 目標 4	担当	高澤 啓子 TAKASAWA Keiko
概要	日本での留学生活を送る上で必要なコミュニケーション能力と、日本の高等教育機関で学習研究活動を行うために必要な日本語能力を養う。 日本語で表現されていることを理解し、情報同士の関係を理解し、理解した情報を活用して論理的に妥当な解釈を導く能力を養う。							
科目目標 (到達目標)	講義や学習活動に必要な日本語を正確に理解し、適切な対応が出来る。知識として得た日本語を実際に使用してコミュニケーションが出来る。教科書の読解、講義の聴講、実験・実習を円滑に行うことが出来る。「日本(人・社会)」という異文化を理解しカルチャーショックを克服出来る。							
教科書 器材等	仁科喜久子他著『初級文型で学ぶ科学技術日本語』(スリーエーネットワーク) ¥2,000、二通信子・佐藤富士子『留学生のための論理的な文章の書き方』(スリーエーネットワーク) ¥1,400、その他必要に応じて教員が用意した教材・資料							
評価の基準と 方法	前期・後期(試験50%, 課題・提出物30%, 出席・授業態度20%) 学年末評価(前期40%, 後期40%, 選択課題20%)							
関連科目	語学系科目、日本事情、国際理解							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		自己紹介。授業概要、課題、評価基準等の説明。地震と防災について。						
第2回		第1課	パーソナル・コンピュータと日本語 カタカナの言葉					
第3回			日本語の文字コード 専門語・文の特徴					
第4回		第2課	日本科学未来館ホームページを見る 論文スタイル・自動詞と他動詞					
第5回			日本科学未来館へ行く前に 研究発表のスタイル					
第6回		第3課	ワープロソフトで日本語文書を作成する コンピュータ用語					
第7回			かな漢字変換 ワードプロセッサの日本語入力					
第8回	×	前期中間試験						
第9回		第4課	気温の変化 複合動詞、原因・理由・例示					
第10回			気象庁のホームページ 単位の読み方					
第11回		第5課	新幹線 定義、比較、受身形、数式の読み方					
第12回			TGV 図形を表す言葉					
第13回		第6課	ロボット 助詞相当句 助詞相当句 使役形					
第14回			ヒューマノイド・ロボット 語の構成要素					
第15回		第7課	音声情報工学 可能形、条件の表現、構成、列挙					
第16回			音声認識の応用 言葉の使い分け					
第17回	×	前期末試験						
第18回		テーマ学習	高専祭参加・展示発表準備					
第19回			高専祭参加・展示発表準備					
第20回			高専祭参加・展示発表準備					
第21回			高専祭参加・展示発表準備					
第22回		第8課	新エネルギー 根拠を示し事実を述べる表現、複合名詞					
第23回			省エネとハイブリッドカー 座標を読むときの言葉					
第24回		第9課	地球と温暖化 引用・伝聞・仮定・判断・結果を表す表現					
第25回			先進国の責任 変化の表現					
第26回	×	後期中間試験						
第27回		第1課	レポート・論文に使われる文体					
第28回		第2課	自動詞や受身形を使った文					
第29回			助詞「は」と「が」の使い分け					
第30回			語や文の名詞化					
第31回			首尾一貫した文					
第32回		第3課	句読点の打ち方					
第33回		第4課	各種の記号の使い方					
第34回	×	試験						

オフィス アワー	第一回授業で説明
授業アンケートへの対応	
備 考	1. 授業に関する質問はメールでも受け付ける 2. 留学生の習熟度に応じてシラバス、教科書等の変更を行うことがある
更新履歴	20110326 新規